

3 調べよう 物をつくる仕事

全12時間 (予備時数 3時間 単元全体15時間)

【目標】

- (1) 函館市内で行われている生産活動について、働く人たちの様子や生産のための工夫をとらえ、原料や製品を通じた他地域とのつながりに気付くことができるようにする。
- (2) 今と昔の生産活動の違いや、地域の自然環境と社会環境との関係をとらえ、地域の生産活動と自分たちの暮らしと結びつきについて考えを深める。

【学習計画】副読本 P22～P37

単元名		学習内容
オリエンテーション (2)		函館の名物にイカやコンブがあることに気付き、それらを使った製品に興味をもつ。
1 しおからをつくる仕事	<input type="checkbox"/> 工場見学の計画を立てよう (1)	しおからづくりについて調べたいことを話し合い、水産食料品工場の見学の計画を立てる。
	<input type="checkbox"/> しおからはどうやってつくるの？ (1)	水産食料品工場を見学して、工場の中の様子やしおからづくりの工程や、人の役割などをとらえる。
	<input type="checkbox"/> ふしぎな部屋 (1)	水産食料品工場の設備や働く人の服装などについて調べ、特に衛生に気をつけて生産していることを知る。
	<input type="checkbox"/> どんな仕事があるのかな？ (1)	水産食料品工場で働いている人たちがいろいろな仕事を分担していることをとらえる。
	<input type="checkbox"/> どのようにはたっているのかな (1)	水産食料品工場で働いている人の人数や通勤状況、働く時間帯や休憩時間帯の過ごし方を知る。
	<input type="checkbox"/> げんりょうはどこから？ (1)	原料のイカの輸入先を調べ、地図や表にまとめながら自分たちの市と外国とのつながりに気付く。
	<input type="checkbox"/> しおからはどこへ行くの？ (1)	製品の輸送先や輸送方法を調べ、工場の立地の工夫や他地域とのつながりに気付く。
2 海ではたらく人たちのようす	<input type="checkbox"/> コンブをとる仕事 (1)	コンブ漁は、家族みんなで行われていることやどんな道具を使用して行われているかを知る。
	<input type="checkbox"/> 育てる漁業 (1)	養殖コンブの養殖施設や暦を利用して漁師さんの工夫や苦勞を知る。
	<input type="checkbox"/> コンブの出荷 (1)	水あげされたコンブの流通や漁業協同組合の仕事を知る。
*予備時数 3時間		